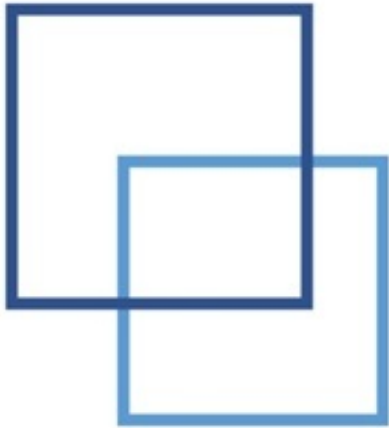


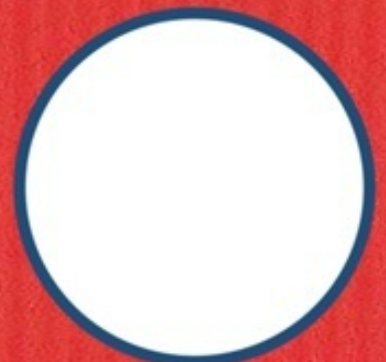
“フツー”の生き方？

初級編



Kuwabara-Seminar ☺

@Kindai Univ. 2016



◆目次◆

- ◇ はじめに・・・3

第1章 親の仕事とバイト

- ◇ しごと大図鑑・・・5
- ◇ バイトと仕事の比較・・・10
- ◇ コラム フラックバイト・・・14

第2章 経験を貯めよう！

- ◇ 経験が役立ったインタビュー・・・19
- ◇ いろんなことをしてみよう・・・21

第3章 フツターの生き方

- ◇ 人生サンプル・・・24
- ◇ 理想の生き方・・・25
- ◇ 参考文献・・・27
- ◇ おわりに・・・28



はじめに

あなたは「お金」と聞くと、どんなことをイメージしますか？

お金持ちになりたい！ 貧乏は嫌だ！

そんなことを思う人はきっと多いでしょう。もちろん私だってそうです。

できるなら、働かずに好きなことだけをして、好きなものだけを食べ、

好きなときに好きなように生きてみる。そんな生活がしてみたいものです。

でも現実的に考えると、多分これはとても難しく、ほとんど不可能な話です

よね。人間が生きていくためには必ず「お金」が必要になります。

食費だったり、家賃や光熱費だったり、そして税金や保険料だったり。

でも、そんなことを急に言われても、実際、いまいちピンと来ないと思います。

そこで今回私たちは、これから何年か先、あなたが社会に出ていこうとする

ときのために、役立つことや知っておくべきことなどを「お金」に焦点を

当てながら、できるだけわかりやすく、そして楽しくお届けしていこうと

思っています。では、まずは初級編からお付き合いください！



第1章

親の仕事とバイト



しごと
大図鑑

ひとくちに「仕事」と言っても、その種類は様々です。
このコーナーでは、主な職業の紹介と、そして簡単なものではありませんが、
あなたの適性をチェックするためのチャート診断をご用意しました！
ぜひぜひご活用ください！



<p>1 START 人と関わるのが好き。</p> <p>YES→2 NO→13</p>	<p>2 手先が器用だ。</p> <p>YES→3 NO→5</p>	<p>3 人や社会のために役立つ仕事がしたい。</p> <p>YES→6 NO→5</p>
<p>4 数学や理科が得意だ。</p> <p>YES→A <u>医者</u> NO→B <u>通訳師</u></p>	<p>5 人を直接喜ばせることができる仕事が良い。</p> <p>YES→8 NO→C <u>整骨治療</u></p>	<p>6 人の命を救う仕事につきたい。</p> <p>YES→15 NO→9</p>
<p>7 人を美しくしたい。</p> <p>YES→D <u>美容系</u> NO→E <u>旅行</u></p>	<p>8 自分の知識や経験を人に伝えたい。</p> <p>YES→F <u>教育</u> NO→7</p>	<p>9 特別な日を企画する仕事がしたい。</p> <p>YES→7 NO→14</p>
<p>10 答とみかするよりも、個人ソレーの方が好きだ。</p> <p>YES→G <u>芸術家</u> NO→11</p>	<p>11 頭を倒かせるよりも、体を動かす方が好き。</p> <p>YES→H <u>大工</u> NO→I <u>建築家</u></p>	<p>12 正直言って、飽き性だと思ふ。</p> <p>YES→10 NO→J <u>事務職</u></p>
<p>13 細かい作業が得意だ。</p> <p>YES→10 NO→12</p>	<p>14 自然と触れ合いたい。</p> <p>YES→K <u>農家</u> NO→L <u>金融</u></p>	<p>15 運動神経と持久力にとても自信がある。</p> <p>YES→M <u>消防</u> NO→4</p>



次のページでは職業紹介をしています♪

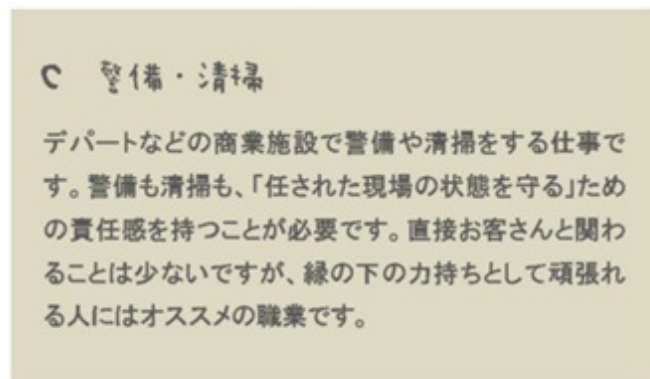
A 医者

人の命を救う仕事で、歯科医師(歯医者さん)も「医者」に分類されます。他にも、薬を作る薬剤師や、血液検査などを行う臨床検査技師などの職業もあります。「医者」は、優しくて責任感の強い人に就いてほしい職業です。ただ、「命を救う」ということもあって、簡単には選べない職業でもあります。医者になるには多大な努力と覚悟が必要です。



B 看護師・介護士

お医者さんのお手伝いや患者さんのお世話をする仕事。看護師は体力と忍耐力勝負の仕事です。障がいのある人やお年寄りをお世話する介護士、大けがのリハビリをサポートする柔道整復師などの仕事もあります。救命救急士など、医療の前線に立ってお医者さんをサポートする仕事もあります。



C 警備・清掃

デパートなどの商業施設で警備や清掃をする仕事です。警備も清掃も、「任された現場の状態を守る」ための責任感を持つことが必要です。直接お客さんに関わることは少ないですが、緑の下の力持ちとして頑張れる人にはオススメの職業です。



D 美容師

人をきれいにする仕事です。美容師、エステティシャン、ネイリスト、メイクアップアーティストなど、その方法は様々です。お客さんと話すことが多いので、人と関わるのが好きな人に向いている仕事です。また、美容にも流行があるので、流行に敏感な人、お客さんのために努力できる人も向いている職業だと言えるでしょう。

E 旅行

旅行をするときにほとんどの人がお世話になるであろう、旅行会社やホテル、空港やバスなどの交通などの仕事が「旅行」には含まれます。旅行会社ではお客さんの満足できるプランを立てられることが理想なので、発想が豊かな人が活躍できる職業でありそうです。また、ホテルの従業員は旅人が泊まるホテルや食事、寝床などを用意する仕事です。こちらはお客さんの求めていることを即座に判断し、言われる前に行動できる人が向いているでしょう。他にも、空港で働くグランドスタッフやキャビンアテンダントになるためには、空港にはいろいろな国の人がいるので外国語を話すことができるようにならなければなりません。また、バスやタクシーなどの運転手をするには、車の運転が上手な人、よく道を知っている人が向いているでしょう。今挙げたどの職業も旅行というお客さんの特別な日をサポートするものなので、よく気が利いて、お客さんのために一生懸命になれる人に就いてもらいたい職業です。また、特別な日を応援するという意味では、飲食店で働くことも重要な仕事です。飲食店にもいろいろありますが、混み合う店内でまわりに注意を配れる人、テキパキしている人が向いている仕事です。



F 教育関係

教育関係に関わるなら、第一条件として子供が好きであることが必要です。また、「聞き上手」であり「話し上手」であることも大切な素質であると言えます。教育関係の仕事には主に、小中高大の教師、塾講師、保育士があります。生徒の年齢によって仕事内容は変わりますが、「人を育てる仕事」という基本理念は共通しています。

G 芸術家

集中力忍耐精神力がある人に向いている職業です。また、センスや独創性も必要です。芸術家・クリエイティブ系の仕事には、放送作家、デザイナー、ウェブデザイナー、彫刻家などがあります。



H 大工

建物の建設や公共工事を行う仕事です。家を建てる前にその土地を調べる測量士という仕事もあります。大工さんは、建築現場で働くことが多いことので、肉体労働のいわゆるガテン系の仕事となります。しかし、それだけではなく、平面的な図面を読み取ってそれを立体的な現実の形にしたり、必要な材料を積算して効率よく使ったりと、結構頭を使う仕事でもあります。



I 建築家

建築家になるには美的センスが問われます。美的センスは物をデザインする上でとても重要だからです。建物の形、色合い、材料など、外装から内装まであらゆる面で建築士がデザインします。また、購入者が暮らしやすい家をつくるために、耐震などの面でもよく考えることができる人が向いている職業です。

J 事務職

テキパキと処理ができたり、パソコンの一般的な操作ができたりする人が向いている職業です。ほとんど同じような作業の繰り返しなので、飽きることなくコツコツやり続けられる人に良いでしょう。一般事務、医療事務、コールセンター、秘書、受付などが事務職にあたります。



K 農家

農家には計画性があり、体力がある人が向いています。また、作物の状態を観察する力も必要です。雨や台風などで作物が駄目になってしまうこともあるので、打たれ強い精神力も持ち合わせていなければなりません。近年、農家の数はどんどん減少しているので、是非これからの若い人に就いてもらいたい仕事でもあります。

金融

銀行で働くには、絶対に計算を間違えずに処理する正確さが求められます。お金を扱う仕事でもあるので、絶対に不正をしないという正義感がある人が良いでしょう。また、企業や依頼人の資産運用や管理を手伝う、税理士や公認会計士などという職業もあります。こちらは、専門的な知識が必要なので、働くためには努力が必要になるでしょう。



消防（公務員）

消防は、人の命を救うとても重要な仕事です。消防に向いているのは、体を動かすのが好きで、かつ冷静な判断ができる人です。人の命を救う前に、自分の命を守らなくてはなりません。また消防士の人気は非常に高く、試験の難易度も高めとなっているので、試験対策が必要です。他にも、警察官や議員、役所関係、自衛隊なども公務員に含まれます。

もちろん、これだけが仕事のすべてというわけではありません。自分の好きなことや関心がある事柄、得意なことなどからも、それに関連したたくさん仕事を見つけ出すことができそうです。

「他にはどんな仕事があるだろう」なんてことを考えながら、一度、自分の周りを見つめ直してみるのも面白いかもしれません。
(坂井)



バイトと仕事の比較

さて、〈しごと大図鑑〉で世の中にはどんな仕事があるのかを見てきました。診断チャートの結果はどうでしたか？ なんとなくやってみたいと思う仕事や、興味を持った職業などはありましたか？ 自分でお金を稼いで生活するためには、多くの場合、職に就くなどして働く必要があるということは、みなさんも知っていると思います。

では、そもそも仕事をするには、働くためには、何から始めればいいのか？ また、同じく働いてお金を稼ぐでも、学生がしているアルバイトと、私達の親をはじめとする大人がしている仕事とは何が違うのでしょうか？

ここでは、そんな〈働く〉ことについての基礎知識を紹介していきます。

まずは、私たち学生にとって最も身近な存在であるアルバイトの始め方から見てみましょう！



1. アルバイトの始め方

高校になると、校則でアルバイトをすることが許されるところも増えてきます。自分で働いてお金を稼いでってなんかちょっと憧れるし、自由に使えるお金が増えるのは嬉しいことですよね。「高校生になったらアルバイトをやってみたい！」と思ったことがある人も多いのではないのでしょうか？

一方で、「でも、アルバイトをするためには具体的にどうすればいいのか？」「何から始めたらいいのか分からない……」なんて疑問に思ったり不安を抱いたりしている人もいます。そんなあなたにお教えしましょう！ これがアルバイトを始めるために踏むべきステップです！

Step1. 求人情報を見て、やりたいものを見つける

まずは、自分がやりたいアルバイトを探してみましょう。皆さんはスーパーやコンビニ、駅などで「バイトを探すなら！」とか「〇〇エリアの求人情報」なんて書かれた表紙の冊子を見たことはありませんか？ あれには、アルバイトとして働いてくれる人を募集している所の求人情報（どんな仕事内容なのか、給料はどれくらいか、など）がたくさん載っています。ほとんどの場合がフリーペーパーで無料なので、見つけたら家に持って帰ってゆっくり見てみましょう！ 黙って取っても万引きじゃないです、大丈夫！ 求人情報は、インターネットや新聞でも探して見るすることができます。



Step2. 応募して、履歴書を作る

やりたいアルバイトが見つかったら、次は電話やネットで実際に応募しましょう。電話なら失礼のない言葉遣いに、ネットなら必要事項の入力ミスに気をつけて！

ほとんどの場合、そこで面接の日時と、その際に履歴書を持ってくるように言われると思います。履歴書はコンビニなどでも売ってますし、インターネットからダウンロードして気軽に手に入れることもできます。項目に従って、自分の情報をひとつひとつ丁寧に書いていけば大丈夫です！



Step3. 面接に行く

さあ、ここまで来たら最後はいよいよ面接です！ 応募先の人と、初めて顔を合わせてお話しすることになります。実際にそこでアルバイトとして働くことができるかどうかが決まる、運命の瞬間……！ 相手の質問に対して的確に、丁寧に答えていきましょう。この時に、疑問点や聞いておきたいことを質問するのもおすすめです。



2. 仕事の始め方

ここで言う<仕事>とは、アルバイトと区別して<大人達が、会社などで正社員として働くこと>を意味していることとします。おそらく多くの方が、高校や大学を卒業後に通る道でしょう。学生のアルバイトと違って、仕事は人生の中でも大きな割合を占める可能性が高い分、働き始めるまでにかかなり長い時間と多くのステップを必要とします。ですが、大きく、本当にざっくり……いや本当にものすごく大胆に分けると、アルバイトの始め方とそこまで変わりません。自分と向き合って自分を知って、情報を集めて相手のことを知って、応募書類、試験、面接で自分をアピールして……。もちろんアルバイトの時に比べてひとつひとつのステップをこなしていくのはとても大変です。

ここ数年よく聞く就職難のニュース……「就活は大変だぞー」と脅してくる親戚のお兄さんお姉さん……。まだ少し遠い未来のことだから実感は湧かないのに、なんとなく不安に思っている人もいるかもしれません。でも大丈夫！ まずは<知る>ことから始めてみましょう。社会はどんな仕組みで回っているのか、まだ見ぬ選択肢の可能性……。そんないろいろな物事を知っていて損はありません。そこから、自分が今何をすれば良いのか分かることだってあるんです。ここには、そんなく知っておいて損はない>知識がたくさん詰まっています。さあ！ そうと決まればどんどん読み進めてみましょう！ 物足りなくなったら中級編もおすすめです！



3. アルバイトと仕事の違い

私たち学生でも出来るアルバイトと、周りの大人がしている仕事。なんとなく違うのは分かるけれど、具体的には何がどう違うのでしょうか？ 仮に同じ職場で働いていたとしても、アルバイトと仕事とでは大きく異なる点がたくさんあるんです。初級編では、中でも特に大きくて分かりやすい3つの違いを挙げてみました。もっと細かい違いや、「そもそもなんで違うの？」って理由が知りたい人はぜひ中級編へ！

		アルバイト	仕事
①	働く期間	決まっている	決まっていない
②	給料	時給・日給	月給
③	労働時間	シフト制	固定

① 働く期間の違い

基本的に、アルバイトは一年間や半年など、働く期間が決まっています。皆さんも、アルバイトはしたいけどそれは学生の間だけ、とか、高校を卒業するまで、と考えているのではないのでしょうか。その一方で、仕事は働く期間が決められていません。つまり、本人が望むなら、解雇されない限りは定年までその職場で働くことができるのです。

② 給料の違い

アルバイトで働いた分の給料は、主に時給か日給という形をとります。時給とは、一時間単位で計算され、支給される給料のこと、同じように日給とは一日単位で計算され支給される給料のことです。一方、仕事は月給で給料をもらう形になります。



③ 労働時間の違い

アルバイトはシフト制という形をとっていて、たいていは自分の都合に合わせて「○日の□時から△時まで」のように、働く日時を決めることができます。一方で、仕事は基本的に労働時間が固定されています。だから、正社員として働いているお父さんなんかも毎日だいたい同じ時間に家を出て、同じ時間に帰ってきてるんじゃないでしょうか。(村上)



〈コラム〉 気を付けよう！

ブラックバイト

みなさんはアルバイトについて、どのような印象を持っていますか。「楽しそう！」「お小遣いを稼ぎたい！」「パン屋さんで働きたい」などいろいろな理由でアルバイトをしてみたいと思っている人も多いのではないのでしょうか。アルバイトをすれば、学校の友達以外に違う学校の友達ができたり、自分よりも年上のバイトの先輩といったふうに人間関係が広がります。そういった面がある一方で、思わぬ落とし穴があるかもしれません……。

みなさんは、ブラックバイトというものを聞いたことがありますか？「聞いたことがある」という人もいれば「何それ？」という人もいますよね。まずは、ブラックバイトについて説明します。

ブラックバイトとは

学生生活とアルバイトの両立を不可能とさせるようなアルバイトのことを指します。例えば、みなさんは学生なので学校の授業もあれば定期試験もあります。アルバイトをするなら当然学校の授業がないときにシフトに入りたいし、定期試験が近ければ普段よりもアルバイトの時間を減らして勉強しようと思いませんか。しかし、アルバイト先に勝手にシフトを決められてしまって勉強する時間が確保できないという状態が起こりうるのがブラックバイトです。



こんな状態になってしまうのは、イヤですよね。みなさんには、ブラックバイトについて知ってもらい、自分や友達がブラックバイトをすることにならないようにしてもらいたいです。

まず、どれくらいの方がブラックバイトで悩んでいるのかがわかるデータとして厚生労働省が行った「高校生へのアルバイトに関する意識等調査」を見ていきましょう！

この調査では対象者 1,854 人のうち 32.6%で何らかの労働条件上のトラブルがあったと回答しています。高校生でもバイトの経験がある人のうちの約3割の人がバイトで困った経験をしているのです。

トラブルの内容としては、採用時に合意した以上のシフトを入れられた(11.2%) 一方的に勤務シフトの変更を命じられた(7.0%) 一方的にシフトを削られた(5.8%) とシフト関連のトラブルが多くみられます。また、採用時に合意した以上の仕事をさせられた(8.8%) というものもありました。一試験の準備期間や試験期間に休みがもらえなかったり、シフトを入れられたり、変更されたりして、勉強のための時間がとれなかったという意見が出ています。(参照データ：<http://www.mhlw.go.jp/file/04-Houdouhappyou-11201250-Roudoukijunkyoku-Roudoujoukenseisakuka/0000124506.pdf>)

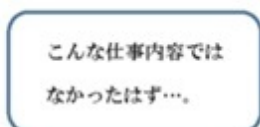
ブラックバイトの具体例

先ほどの調査結果からわかるように、シフトのトラブルはブラックバイトの特徴のひとつといえますね。そこで、ここではシフトのトラブル以外にどのようなものがあるのか見てみましょう！



・自腹購入

クリスマスケーキやおでんといった季節商品に売り上げのノルマを設定して、もし達成できなかった場合にはその商品を購入するように強要されたり、給料から天引きされるようなケースです。



・偽装求人

働き始めてから求人雑誌やインターネットでみた募集要項とは違う労働条件を言われたり、いつまで経っても「まだ研修期間だから」といわれ続けて給料が上がらないなどです。





・損害賠償請求

労働条件に不満を感じたり、おかしいと思ってアルバイトを辞めようと思っても、辞める場合には1カ月前には言わないといけない決まりだったと主張し急に辞めたアルバイトに対し損害賠償請求をするという脅したりするといったケースなどがあるようです。

法律のことを知らなければ「店長の言っていることの方が正しいのかも」「自分が世間を知らなっただけかな」というふうに思ってしまうかもしれませんが、自腹購入の例でみると、法律上は売れ残りを買う義務はありませんし、基本的にバイト代から自動的に商品の代金分を引いたりするということもできないのです。アルバイトを辞めたい場合もアルバイトも含めて、働く人は原則としていつでも退職を申し込めます。そして契約期間などが決まっていない場合には、申し込んでから2週間経てば辞めることができます。

これらのような事態に陥らないためには、しっかりと雇用契約書をもらうことが重要になってきます。

同じく厚生労働省の調査によると、労働条件を示した書面の交付がされなかったと答える高校生が60%にも上っていましたが、本来あなたを雇う側であるお店にはアルバイトの期間や仕事の内容、働く場所・時間、休日、時給がいくらなのかといった内容が書かれた書面を交付する義務があります。なので、しっかり契約書をもらい大切に保管しておきましょう。こうしておくことで、契約と違う内容の仕事をさせられそうになったりしても、それは契約とは違うとはっきり主張でき、トラブルに巻き込まれる可能性が低くなります。



バイトを探すときに気を付けるポイントは？

記録に残しておく

ブラックバイトは偽装求人の例を紹介したように、アルバイトを募集する段階ですでに学生をだまして、人件費が安くて済むアルバイトを確保しようとしている可能性が高いです。そのため、募集内容や労働条件は記録を残しておくということが重要です！

最近では、インターネットを使ってアルバイトを探すことが多いと思いますが、インターネットの場合は求人情報が更新される可能性もあるので印刷して残しておきましょう。いざ面接に行ったときに募集内容と違う条件を言われるようだったらブラックバイトの可能性が高いので要注意！ 別のバイトを探すことをオススメします。

あらかじめ働きたいと思った店を見に行ってみる

できるだけ違う曜日や時間帯に行ってみても、毎回同じアルバイトがはたらいていたり、明らかに従業員が少なくて接客をこなすのが大変そうだった場合、その職場が常に人手不足の可能性が高く、みなさんも同じくらいのシフトを組まされてしまうかもしれません。

最後に

ここまで、ブラックバイトについて書いてきました。一番いいのは、みなさんがブラックバイトに引っかからないことです。しかし、絶対に引っかからないとは言えません。そこで大切なのは、誰かに相談するということです。まずは自分の身の回りの人からでいいのです。自分が悪いのだろうかこれが当たり前なのかと決めつけたりせず、相談してみてください。みなさんは未成年ですから、バイトをする際には親の許可が必要になりますので、親には普段からバイト先の様子を話しておくのがいいと思います。いざトラブルが起きた時に一番親身になって対応してくれるのもきっとご両親のはずです。

何も解決しようとしないと、そのままアルバイトによって勉強時間の確保が難しくなっていく、学生生活が犠牲になってしまい自分の将来の可能性を削ることにつながってしまいますよ！ そんなことが起きないようにと願っています。(佐藤)

第2章

経験を貯めよう！



経験が役立ったインタビュー

『経験を貯めよう』とはどういうことなのでしょう。貯めるというのはお金を貯めるときに使う言葉ですよね。ここでは経験にも“貯める”を使って、お金と同じように経験を貯めてほしいのです。経験って言われても、具体的に言われないとわからないですよ……。だから少し大人な大学生のお姉さんたちと、もっと大人の社会人の人たちにインタビューしてみましよう。

<経験が役に立ったなあという人にインタビューしてみました>



ひとりめ

UZI さん（20）のプロフィール

猫が好きな大学生の女性。愛猫の名前はクッキーちゃん。勉強ができる。努力家。

— やってよかったと思うことはなんですか

UZI 「ダンスですね」

— どうしてですか

UZI 「その当時私のすんでいるところではダンスを習っている人が少なかったんですね。だから体育祭の時には目立つことができました」

— その結果何をすることができましたか

UZI 「人から注目されるという経験ですね」

— なるほど。では逆にやらなければよかったと思うことは何ですか

UZI 「大学で学んでいる図書館で働くためにいる司書の資格を取るための授業の受講ですね」

— それはどうしてですか



UZI 「何の役にたつのか、今のところよくわからないし、図書館の有効活用及び司書の存在価値がいまいちわかりませんでした。あと、なによりも授業がつまらなかったの。でも、本を探すことは誰よりもはやくできるようになりました」

— な、なるほど…。で、ではやらなくて後悔したことは何でしょう

UZI 「忙しくてズートピアを劇場に観に行かなかったことですね」

— あー…ズートピア面白かったですよ。観るべき作品でしたよね。いまならどうしたいですか

UZI 「忙しくても頑張れば時間を捻出できたと思うので、無理やりにも行けばよかったと思います」

— ありがとうございます



ひとりめの UZI さんからは辛口なコメントを頂けましたね。確かにやらなければよかったと思うことに関しては少し辛口に言ってしまうがちですよ。「あの時間はなんだったんだ……」と思ってしまうがちですよ。しかし UZI さんはそんな経験からも「図書館で本を誰よりも早く探す能力」を得ることができましたね。やっていて本当に無駄なことなんてないんだ、ということがわかりました。



ふたりめ

K-K さん（20）のプロフィール

犬と陸ガメを飼っている大学生の女性。絵が上手で小説を書くのが好き。

—今日はインタビューにご協力くださり、ありがとうございます。よろしくお願ひします

K-K「いえー」

—やっけてよかつたと思うことは何ですか

K-K「昔から日記をつけていることです」

—それはどうしてですか

K-K「将来の自分に読ませるためですね」

—なるほど。いい心がけですね。私なんかは三日坊主だからとでも真似できないですよ。

K-K「日記を書くのは日課になっていますね」

—何を得られましたか

K-K「文章を書く能力と創作の能力です」

—では、逆にやらなければよかつたと思うことはありますか

K-K「ないですね」



—一個もないのですか

K-K「その都度後悔はするけれど時間は戻すことができないので結局はどうしようもないことだと思つてしまいます」

—それはまたどうしてですか

K-K「そういうことも含めて私だと思つたのです」

—後悔したことも含めて K-K さんなのですね

K-K「はい」

—では、やらなくて後悔したこととかはありますか

K-K「中学校の修学旅行でバナナボートに乗らなかつたことです」

—いまならどうしますか

K-K「飛び降ります」

—なるほど。ありがとうございました



ふたりめの K-K さんからは後悔しても仕方がないし、たとえ後悔しているとしてもそんな後悔も含めて自分なのだ、ということがわかりますね。たしかに終わったことはどうしようもないものだし、大事なことはこれからをどうしていくのか、ですもんね。UZI さんもそうですけど、終わったことはよく後悔せずに、次に生かそうとしていますね。これはとても大切なことです。

ちよつと紹介

二宮尊徳という人を皆さんはご存知でしょうか。二宮金次郎像で有名な人です。本名は金次郎ではなく尊徳といいます。彼は幼少時に父母を失い、家も天災で没落してしましますが独力で復興したすごい人です。そんな二宮尊徳の残した言葉にこんな言葉があります。

貧となり富となる。偶然にあらず、富も因りて来る処あり、貧も因りて来る処あり。

人皆貨財は富者の処に集まると思へども然らず。節約なる処と勉強する処に集まるなり。

簡単に言うと、お金持ちの所に人やお金は集まるのではなく、節約して勉強する人の所に成功は集まるのだ、ということです。元からお金がある、人が集めるなどといったことにあぐらかいていると成功をおさめられず、色々なことに頑張ろうということです。

いろんなことをしてみよう

インタビューで聞いてみたところ、いい意味でも悪い意味でもみんな口をそろえていうのは、「やってよかった」ということですね。いろんなことをする事はいろんな経験につながります。

嫌な思い出も経験に……

嫌な経験でもあとになって思い返してみると、経験していてよかったな、と思えているみたいですね。まだ若くそんなにたくさんを経験していない私でも、幼いころの経験がいきているな、と感じることがあります。

例えば幼いころに親に言われていやいや習わされていたバレエも、辞めた後ではこの経験を人に話してそこから初対面の人と仲良くなることがあります。

習っていたときは練習が本当に嫌で嫌でたまらなかったのですが、やめたあとは「喉元過ぎれば熱さを忘れる」でなんだかそこまでつらくなかったように思えてくるものです。むしろいい思い出のように感じられてしまうこともあります。

たしかに忘れられない嫌な思い出は心の中にいつまでも残って、長い間私たちを苦しめるのですが、それでも嫌な思い出の何割かは頭の中で整理されて、いたい経験に落とし込まれていることもあるでしょう。そして嫌な経験をすることによって今度はまた同じ過ちを繰り返さないように、と考えられることもあります。嫌な経験というものも存外役に立っているものです。

つまり嫌な思い出でもうまく経験にかえられることができれば、これからの役に立つものになるのでぜひとも経験すればいいということをお願いしたいのです。



やらなかった後悔は永遠に……

それに対して、やらなかった後悔というのはいつまでたっても心残り、あの時こうしていれば今頃はこうだったかもしれない、とずっと考えてしまうものです。大人になってから若いころの自分のなまけを後悔することは本当につらい事です。時間は戻らずただ流れていくのみなのでどうしようもないです。やらなかった事、というのは後悔することだけでなく、その後の人生にすごくかかわってくる事なのです。やらないという選択は経験を得ないという選択と同義なのです。それは財産を自ら放棄することだと言えます。宝くじで3億円当たったのにそれを換金せずにただの紙切れにしてしまうことと同じです。私だったらもう一生後悔しますね。どうして期日までに換金しておかなかったんだらう…私のバカッ!といった具合にきつと100歳になって自分の孫に、お前は本当は億万長者だったんだよ…と言い続けます。もし目の前にチャンスが転がってきたら、何が何でもチャンスをもものにして、経験しておくに越したことはない、と私は思います。



「やらない後悔よりやる後悔」

まだ若いあなたがやらなかったことは大人になった後では、もう覆せないです。対して、やってしまったことはまだ若いあなたならよほどのことでない限りやり直せます。(犯罪はダメ絶対)

よく年配の人が、本当はこんなはずではなかったのだ、あの時ああしていればよかった、と言います。幼いころ、私はこの言葉を聞くたびに、自分たちの後悔を私に聞かせてどうなるんだ、うるさい、と思っていました。しかし今ならばわかります。この人たちは若い人たちに自分たちのようになってほしくないから、今自分たちのやらなかった後悔について話すことによって、行動しようとしているのだと。

何かをするのは面倒ですし、やれることには限りがあります。もしかしたら行動しても何も得られないのかもしれない。でも、経験は絶対に得られます。経験は次の経験につながるものです。やって無駄なことなど何もないのです。

「いさるべき事って何だろう？」

これを読んでいるあなたは一体何歳なのでしょう。かりにあなたを中学生として、今、していたほうがいい事って何だと思いませんか。



私が中学生の時に**してよかったと思うことは**クラブ活動です。確かに仲間内で喧嘩したりした、嫌な思い出はありました。でもそれも今では思い出になっています。

逆に中学生の時に**していればよかったと思うことは**勉強です。私は特に英語の勉強が大嫌いで何も勉強しませんでした。これで困ったのは高校入試です。もう中学3年生だったのに be 動詞と一般動詞の存在すら知りませんでした。しかし頑張って勉強して志望の高校に入れました。時間は取り戻せなくても、失敗は取り戻せるんだな、ということが分かりました。

青文字の所を自分で考えてみて、もし当てはまるものがなかったら学生の本業である勉強を頑張ってみてはいかがでしょうか。(中山)

第3章

フツターの生き方



人生サンプル

「高校を卒業したら、大学に進学……」「できれば四年制大学の方が……」「その後は大きな企業に就職して……」みなさんはこんな話を、先生や両親、あるいは他の周りの大人から聞いたことはありませんか？ 世間一般に「好ましい」とされ、いつの間にか当然のように敷かれている人生のレール。それって一体どんなものでしょう。ちょっとサンプルを作ってみちゃいました。(村上)

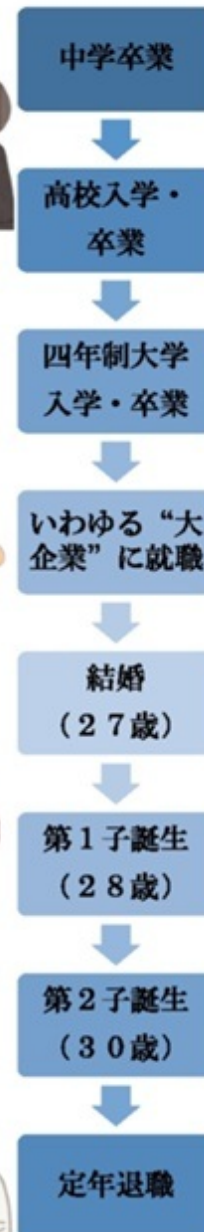
・Aさん(女性)



・Bさん(女性)



・Cさん(男性)




理想の生き方

前のページではみなさんにいろんな人生のサンプルを見てもらいました。

サンプルを見て気がついた人もいるかもしれませんが、これは今私たちが生きる世の中にある「こうしておけば安泰だ」「こういう生き方をしておけばまちがいない」という考え方をもとに作られた、＜理想の生き方＞のサンプルです。こういう人生を送りたいと思う人はきっと多いはず。たくさんの方が目標にしにしているからこそ、この生き方は＜フツウの生き方＞として定着していったのです。

では、人が求める＜理想の生き方＞とはいったいなんなのか見てみましょう！



＜理想の生き方＞ってなに？

中学校を卒業したあと、高校受験を突破して高校に入学する。高校に入ると今度は大学に行くために勉強を頑張って、卒業して大学に入学。4年間の大学生活を送ったあとは良い会社に就職して、自分の車を持ったり、親孝行したりしながら仕事を頑張って、そのうち素敵な人と出会って結婚して、自分の家を持って…。

人によってはもっと細かい条件がつくかもしれないけれど、＜理想の生き方＞ってほしいこんな感じ。小学校、中学校は義務教育だけど、高校に行くかどうかはその人の自由です。それなのに、ほとんどの人が高校に行くのを不思議に思ったことってありますよね？？

たぶん中学3年生になって、高校受験について考えた時にみんな「どうして高校に行くんだろう」って不思議に感じると思います。あなたがそれを先生や親と聞いた周りの大人に聞くと、きっと最終的には「将来のため」と答えてくれるでしょう。大学に行くのも同じ理由で、そこにはあなたが＜理想の生き方＞をするという大前提があるんです。



＜理想の生き方＞って誰が考えたの？

みなさんは歴史の授業で「封建社会」って言葉を聞いたことありますか？

これは君主となる人が家臣にあたる人に土地やいろんな特権を与え、そのかわりに家臣は君主に忠誠を誓うという主従関係をもとに成り立つ社会のことです。このころの日本は個人の能力に関係なく、身分で評価される時代でした。明治維新をきっかけに近代国家になることを目指して教育内容を大きく変えた日本は東大を中心に大学をつくり、高い学歴を持った人に高い給料を払う社会に変わっていきました。戦後にこの考えはすっかり広まって、身分に関係なく学歴で人々の間に差ができていきました。そうなってくると多くの人が上の位置に立つために大学を目指すようになり、だんだん「大学に行くのは当たり前」という考え方が広まっていったのです。

今では別に良い大学を出て就職するだけが人生じゃないと考える人も多いので、あまり格差という言葉は意識されなくなったけれど、それでも日本人の間には大学に行って良いところに就職するのが＜理想の生き方＞として残っているんです。



今では就きたい仕事に必要な資格を取るためや、勉強したいことがあるから大学に行く人がほとんどです。＜理想の生き方＞が＜フツウの生き方＞なんて言い方をしたけれど、フツウが良いということも悪いということもありません。結局はみなさんが自分で良いと思える生き方を選ぶことが一番なのです！

まだ中学生のみなさんにはすごく先のことに思えて想像もつかないかもしれないけど、これから自分の生き方をゆっくり探してみてくださいね。(賀治)



参考文献

第1章

- ・「なりたい」が見つかる職業情報サイト <http://careergarden.jp>
- ・Y!きっず図鑑! <http://zukan.kids.yahoo.co.jp/job/>

コラム

- ・今野晴貴 『ブラックバイト 学生が危ない』 岩波新書 2016
- ・大内裕和 『ブラックバイトに騙されるな!』 集英社 2016

第3章

- ・苜谷剛彦 『大衆教育社会のゆくえ』 中央公論社 1995



おわりに

みなさん、ここまでお疲れ様でした。

この初級編では、しごと図鑑からはじまってバイトの話、仕事の話、経験の話、そして生き方について書きました。中学生のみなさんが普段あまり触れることのない内容について、分かりやすいように作ったつもりですが……。どうでしたか？

「全然わかりやすすくない!」「退屈だった!」と思った人、いると思います。そりゃそうですよね。ここに書いてあることは中学生のみなさんからしてみれば、すぐに必要な情報じゃないし、まだまだ先のことに思えて「こんなこと言われてもまだわかんないし、ほっといてくれ」ってなると思います。私たちがみなさんの立場でも、きっと同じことを言ったでしょう。でも、それでいいんです。今じゃなくても、この先みなさんがバイトをしようと思った時、進路に困った時、そういう時にこの本のことを思い出してくれたら、それでいいと思います。この本が必要になった時、ここに書いてあることだけでは足りない、不十分だと思うことがあればぜひ、中級編ものぞいてみてください。

中級編にはバイトと普通の仕事についてもっと詳しい説明や、一人暮らしをするときに役に立つ情報、そして初級編で紹介した<理想の生き方>以外の生き方について書かれています。少し初級編よりも難しい内容になるかもしれないけれど、きっとみなさんの役に立つと思います。

それでは、また中級編で会いましょう!

